

誰もが安心して安全に元気に暮らせるまちづくりを目指して



動画視聴



公明党議員団
山田 修司 議員

学校給食費の公会計化

問 本市の小・中・特別支援学校の給食費について、未納の徴収対応等、教職員の負担軽減の観点から、学校給食費を公会計化する考えは。

答 本市の学校給食費は、私会計で運営している。給食費は原則口座振替により徴収し、その給食費は市の学校給食会に納入され、学校給食会が食材料の選定や発注、支払いを一括して行っている。

このように、本市では文部科学省の学校給食費徴収・管理に関するガイドラインに掲げられる内容について、既に多くの面で実質的に公会計と同様に取り組んでいる。

給食費の公会計化については、現在の役割分担の在り方にも関わることから、引き続き公会計化に係る情報収集に努め、他市の状況等も注視したいと考えている。

再発言 給食費の未納対応等、必ずしも教師がやらなくてもいいものから負担を減らし、子供のために勤務時間を使っただけよう要望する。

問 学校給食費の公会計化は、関市長のリーダーシップをお願いしたいが、市長の見解は。

答 教職員の働き方改革を進め、教職員

がワーク・ライフ・バランスを保ちながら、子供たちとしっかり向き合うことは大事だと考える。

給食費の徴収は、原則口座振替で実施しており、以前と比べると負担軽減になってきているのではないかと考える。

さらに、透明性の面でも、学校給食会の会長は教育長であり、しっかりチェックができていていると考える。

まずは、他市の例などもしっかり情報収集し、教育委員会と協議していきたい。



七夕献立（そうめん汁と星型コロケ）

夜間中学ほしぞら分校

問 令和6年4月開校の夜間中学ほしぞら分校において、給食を実施する予定はあるか。

答 夜間中学の開校に当たり、給食提供に係る検討を行ったが、夜間中学は幅広い年代の

生徒が就学するため、食事の嗜好や必要な量、給食提供に関する希望も様々であることが想定されることに加え、夕方からの限られた時間の中で給食提供時間を十分に確保できない状況が考えられる。このため、夜間中学においては開校当初からの給食を実施しないこととした。

当面は、生徒の就学状況や休憩時間の様子などを確認していきたい。

問 夜間中学ほしぞら分校という新しい学校ができたが、校歌もしくは愛唱歌はあるか。

答 夜間中学ほしぞら分校は、宅峰中学校の分校となるため、校歌は宅峰中学校の校歌となる。愛唱歌については、ほしぞら分校に通う生徒からの要望があった場合に検討したい。

軟骨伝導イヤホンの導入

問 耳周辺の軟骨の振動を通して音が聞こえる軟骨伝導イヤホンが、自治体の窓口を導入され始めている。本市の窓口でも、利便性向上の観点から導入の考えはあるか。

答 現在、福祉課各担当の窓口では、補聴器の利用者や難聴など、音が聞こえづらい人の聞き取りを助ける補聴支援システムである磁気ループを導入している。

軟骨伝導イヤホンについては、窓口の利便性向上を図る観点から、先行して導入している自治体の活用状況等を情報収集したい。